

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月24日
更新年月日	—
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	早島町 (334235)
地域名	前潟 (前潟、久々原)

## I 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	70.14 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	70.14 ha
② 田の面積	67.88 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	2.26 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	4.45 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.9 ha
(参考) 区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	19.26 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	2.38 ha
(備考)	

## (2) 地域農業の現状及び課題

- ・現状は認定農業者等の担い手4名を中心に地域内の農地が集積されているが、経営地が地域全体に点在している。
- ・地域内の農地の約30%は75才以上の農業者17名で耕作されており、当該農業者のうち後継者が確保できているのはわずか2名である。近い将来において、これらの農業者のリタイアにより、荒廃農地が急増する恐れがある。
- ・地域内の用排水路の60%が未整備状態で、一部では営農に支障が生じており、基盤整備の加速が急務である。

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・本地域の主作物である米については、農作業の効率化・省力化に取り組み、経費削減による農業所得の向上を図る。
- ・野菜や果樹など本地域における新たな産地を形成する。
- ・農家ではない地域内の住民が「農」に関わることで、「農村関係人口」の創出・拡大を図り、地域一体となって農業の保全・発展に取り組む。

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

## (1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

- ・認定農業者への農地の集積・集約化を基本として、その他の農業を担う者に対しても積極的な農地利用を進め、新たな認定農業者を確保・育成する。
- ・経営の組織化に取り組み、機械の共同化など農作業の省力化を図る。
- ・水田の畠地化により、地域内の畠の面積の拡大を進める。
- ・地域住民も参画する共同活動により、本地域の農業が有する多面的機能を維持・発揮させる。

## (2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	38.9 %	将来の目標とする集積率	43 %
--------	--------	-------------	------

## (3) 農用地の集約化に関する目標

地域内の農業を担う者が利用する30a以上の農地の区画数は、31個所(令和6年度時点)  
区画数の削減及び区画面積の拡大を進める。(令和12年度)

### 3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組	農地中間管理事業を活用し、農業委員会、関係農業者との話し合いによる農用地の集積・集約を推進する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法	地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。
(3) 基盤整備の加速	団体営事業の活用により用排水路の改修を加速させ、持続的な農業経営ができる環境を整備する。
(4) 営農組織の設立	地域内の農業者との話し合いによる理解の醸成・合意形成を図り、営農組織の設立に向けた取組を進める。
(5) 高収益作物への転換の支援	暗渠排水、客土などの整備及び必要な機械の導入を支援し、水田の畑地化に取り組み、野菜、果樹など収益性の高い作物栽培への転換を推進する。
(6) 共同活動の支援	多面的機能支払交付金制度を活用し、地域内の農地・水路の維持活動及びレンゲなど景観作物の形成やジャンボタニシ・ヌートリアによる農作物被害防止活動を支援する。
(5) 多様な経営体の確保・育成の取組	地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、農業委員会及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

### 4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			6年後 (目標年度:令和12年度)				備考
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上での表示	
認農	(個人) A	水稻	8.8 ha	0 ha	水稻	10.0 ha	0 ha	A	
認農	(個人) B	水稻	12.0 ha	0 ha	水稻	12.3 ha	0 ha	B	
継続	(個人) C	野菜	0.3 ha	0 ha	野菜	0.3 ha	0 ha	C	
継続	(個人) D	水稻	0.7 ha	0 ha	水稻	0.7 ha	0 ha	D	
継続	(個人) E	水稻	0.8 ha	0 ha	水稻	0.8 ha	0 ha	E	
到達	(個人) F	水稻、野菜	1.5 ha	0 ha	水稻、野菜	1.6 ha	0 ha	F	
継続	(個人) G	水稻、野菜	1.2 ha	0 ha	水稻、野菜	1.8 ha	0 ha	G	
継続	(個人) H	水稻	1.1 ha	0 ha	水稻	2.8 ha	0 ha	H	
継続	(個人) I	水稻	1.0 ha	0 ha	水稻	1 ha	0 ha	I	
継続	(個人) J	水稻	0.5 ha	0 ha	水稻	2.0 ha	0 ha	J	
継続	(個人) K	水稻	0.3 ha	0 ha	水稻	0.3 ha	0 ha	K	
継続	(個人) L	水稻	0.4 ha	0 ha	水稻	0.4 ha	0 ha	L	
継続	(個人) M	水稻	0.8 ha	0 ha	水稻	0.8 ha	0 ha	M	
到達	(個人) N	水稻	4.8 ha	0 ha	水稻	4.8 ha	0 ha	N	
計	14経営体		34.2 ha	0 ha		39.6 ha	0 ha		

### 5 目標地図（別添のとおり）